

(仮称) 加賀市ひと・まちプラン (案) の パブリックコメントの結果について

加賀市総合計画後期実施計画「(仮称) 加賀市ひと・まちプラン (案)」について、広く市民の皆様からご意見をお聴きするため、下記のとおり、意見公募（パブリックコメント）を行いましたところ、以下のパブリックコメント一覧のとおり、10件のご意見・ご提案が寄せられましたので、お知らせいたします。

記

◆公募案件の概要

案 件 名	「(仮称) 加賀市ひと・まちプラン (案)」について
公募期間	平成25年3月1日(金)～平成25年3月15日(金)
担 当 課	総務部企画課 TEL0761-72-7830
周知方法	広報かが、市ホームページで周知を行い、企画課、山中温泉支所、各出張所、各図書館にて資料を供覧
供覧資料	◆「(仮称) 加賀市ひと・まちプラン (案)」 (観音開きパンフレット形式)
提出方法	氏名及び住所を明記のうえ、メール・郵便・FAXにて企画課へ提出

公募結果：10件（3名）
詳細は以下のとおり。

(仮称) 加賀市ひと・まちプラン (案) パブリックコメント一覧

連番	種類	意見(原文)	市の回答
1	提案	<p>金沢大学第2中学校の誘致</p> <p>“地産地学”の構想で、加賀温泉駅前に誘致する高等教育機関として、金沢大学付属第2中学校の誘致を提案したいと思います。</p> <p>もちろん、国立大学法人の附属学校という事で、市が単独で推進できる事業ではありませんが、目指すべき“地産地学”に反する、都市部への才能の流出の源流はこの世代のように思う。ことに、平和町への移転後は、南加賀地区からの通学の便が悪く、早い時期から親元を離れての生活や、別居状態の母子生活となることも多く、加賀市出身の才能の、多感な世代での負担が大きいとも感じます。</p> <p>地元（及び近隣市町）の教育機関として、駅近くという場所は利便性が高く、引き続き通学するであろう、金大付属高校との連携もしやすく、「市内の地元小学校→加賀温泉駅前の附属中学校→金沢市の附属高校」と成長過程に合わせた通学圏に対応できるものと思う。</p>	<p>ご提案については、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
2	提案	<p>中高連携型中学校の設置</p> <p>”地産地学”の要である大聖寺高校の実力向上の為、中高6年間の一貫教育を目的とした連携中学の、加賀温泉駅前への新設を提案します。</p> <p>中学の段階から、大聖寺高校への進学を前提とした、選抜方式の100人/学年規模の連携校とし、高校受験を廃した一貫式の6年間の教育を実施する。県内であれば近接中学と連携している金沢錦丘高校、近隣であればの金津高校の例があるが、多核分散型の加賀市としては、全市（及び近隣市町）からの通学を考慮し、地域的な集約を廃する意味合いで、交通集積地となる立地での開校が望ましいと思う。</p>	<p>ご提案については、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
3	提案	<p>障害者（ろう哑）教育の専門学校の誘致</p> <p>駅前立地での交通の便を生かした特色ある教育機関として、手話のみでろう哑者向け一般教育を行う専門学校、あるいは既存大学の一部の学部誘致を提案します。</p> <p>既存の大学や専門学校での、視聴覚の障害に対応した高等教育機関は広がりを見せているが、学生だけでなく教職員も含め、すべての授業や学校生活まで手話で行う高等教育機関はまだありません。ろう哑教育であれば、他の障害と比較して、設備的な対応もとりやすい面もあり、加賀市規模の経営でも対応可能と思われる。特色を持つ学校の誘致となれば、全国からの進学希望者を集めることも可能。また、金沢と福井の間地点で通学可能という地の利を生かし、両県の県立ろう学校との地域レベルでも連携しやすい。</p>	<p>ご提案については、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
4	疑問	<p>加賀温泉駅前地区の農地を利用したプランとなっているが、加賀市内で最も優良な農地であり、今後のTPP対応で、国内の農業に求められる、農地の集約化による大型農家の育成に最適な場所とも思える。安易に優良農地を無くす方向のプランで良いのか疑問を感じる。</p>	<p>今回、加賀温泉駅周辺整備のイメージ図としてお示したものです。今後、ゾーニングに基づく誘導を図ってまいります。エリア内の全ての農地がなくなることは想定しておらず、景観や白山眺望にも配慮したまちづくりに努めてまいります。</p>
5	意見	<p>観光地としての玄関口の加賀温泉駅的美観を損なっている、一番の原因がバブル期に建てられた観音像とも思える。駅前を「加賀ルーシュ」で統一したとしても、視野には金色の観音像が入ってしまい美観維持の目的が果たせない。農地方面ではなく、廃業遊園地も含めた丘陵方面へのコンベンション施設・学校建設の計画展開ならば、マイナスのファクター排除+加賀ルーシュ統一のプラスのファクター創出で効果は倍増と見える。観音像に関しては、以前、権利関係が複雑で処理が難しい旨の報告もあったが、難しい案件であればあるほど、民間での対応は困難でもあり、行政の積極的な関与でバブル期の負の遺産の解消を図るべき。</p>	<p>加賀温泉駅の北側ににつきましては、既に住宅地が形成されており、新たな土地利用の変更は行えないと判断し、今回の駅周辺イメージ図には含めていません。将来的に新幹線駅部の整備概要が示された段階で検討してまいります。</p> <p>また、観音像は民間の所有物であり、行政の関与は難しいと考えています。</p>

(仮称) 加賀市ひと・まちプラン (案) パブリックコメント一覧

連番	種類	意見(原文)	市の回答
6	意見	国道8号線観光商業ゾーンへの高速バスやツアーバスのターミナル化との記載があるが、新幹線の金沢駅からの誘客として、近距離のターミナルとして、各温泉街へのハブとなる場所として、8号線沿い、おそらく道の駅周辺を想定していると思われるが、鉄道の拠点である加賀温泉駅との関係があいまいにならないか？また、夜間発、早到着の高速バスの場合、連携する交通機関が無い8号線沿いをターミナル化した場合著しく利便性が低下する。	国道8号4車線化に伴い、「国道8号道の駅構想」に着手しており、一つの考え方として、最近大幅に利用者が増加しているツアーバスの発着場にするというアイデアをお示ししたものです。詳細は今後検討してまいります。
7	提案	加賀温泉駅と小松駅の立地を考えた場合、加賀温泉駅は小松空港に対する西側の窓口となる可能性を有していると思う。温泉地と加賀温泉駅そして小松空港に連なる、西側（福井方面）の窓口としてのプランが必要と思う。また、（市街地で大きな敷地を確保しづらい）小松駅とは違う切り口。安価な駐車場を整備しての飛行場や新幹線駅への自動車利用者の為の駅となるような特色を打ち出せないか？	ご提案については、今後の検討課題とさせていただきます。
8	提案	市内への観光客の拠点となっている加賀温泉駅前に郵便局の進出を促してほしい。そしてご当地切手やハガキの販売を行ったり、旅先からのハガキの投函が買ったその場でできるようにしてほしい。病院ができるようになれば、より一層地元の生活の足がかりにもなり、郵便局が無いのはおかしい。あと、山中塗と九谷焼の実演や情報発信をもっと具体的に足をもたすようにしてほしい。	ご提案については、今後の検討課題とさせていただきます。
9	意見	発表されたプランを読み込む中で、加賀市の将来の根幹に関するプランの確認を求めるパブリックコメント、地域での説明会や意見交換会がない中で、わずか15日間の募集期間では期日が少ないと感じます。10月に市長選挙もあるので、あわててプランを策定するのではなく、寺前市長の二期目の市長選挙のマニフェストとして半年かけて意見を求め、実際に市民の声と向き合った上で、再選後に策定する方が良いように思います。	今回のプランは、平成19年3月に策定した「第1次加賀市総合計画」の中期実施計画が、24年度で終了することに伴い、後期実施計画として策定したものです。次期総合計画策定時には、策定手法等、改めて検討いたします。
10	意見	こんにちは、すばらしい計画を考えられていると思います。ただよく思うのが、その計画が完成して実際に運用してみると、当初の予定や想像通りの成果がちゃんと出ているのだろうか？と疑問に思います。この6年間の成果というものが記載されていますが、これは加賀市に作ったものや行なった事がただ書いてあるだけで、それらを通してどんな影響や効果があるのかなどが全く書いてないので、結局それらを行なった結果、良くなったのか悪くなったのかが不透明です。事前にはっきりと計画を立てて現実の社会で運用してみると、良かった部分や悪かった部分などが出てくるとは思いますが、その結果や効果などを様々な面から検証してわかりやすくまとめて、それを通して何がどう変わったか、というものを公表してもらえないでしょうか？そういったものが公開されれば、もっといろいろと意見がしやすいし、それらを知る事によって市政などに対してもっと関心や興味が沸きます。	今般のプランは、北陸新幹線敦賀延伸や統合新病院の整備等、様々な環境変化に対応するため、市民の「住んでよし」と、観光客の「訪れてよし」に分けて、わかりやすくお示しした総合計画後期実施計画です。この6年間の取り組みを踏まえ、「住んでよし」では、医療提供体制の充実による安全・安心の向上を、また「訪れてよし」では、ハード整備が終了した総湯・古総湯や街湯を活用した首都圏誘客等のソフト事業の充実を図る予定です。全般的な成果や評価については、次回、総合計画策定時に、改めてお示ししたいと考えておりますが、個々の事業の成果については、毎年を行っている行政評価（内部評価・外部評価）において事後評価を行い、実績や成果を公表しております。今後も、計画（PLAN）、実施（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTION）というPDCAサイクルのもと、市民サービスの向上と事務改善に反映させてまいります。